

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和7年7月23日
名 称	議会懇談会		
日 時	令和7年7月16日(水) 13時32分～15時10分		
場 所	公民館大ホール		
出席者	民生児童委員協議会 24名 議会議員 13名、事務局 2名		
内 容	<p>議会懇談会を開催したので、その結果を次のとおり報告する。</p> <p>1 次第</p> <p>開 会～司会：米澤議員 13：32</p> <p>開会挨拶～中澤議長</p> <p>懇談会進行説明～小野福祉対策班主幹</p> <p>出席者紹介～名簿等により確認</p> <p>懇談 テーマ①「高齢者支援について」 13：38～14：06</p> <p> テーマ②「人口減少対策について」 14：06～14：30</p> <p>休憩</p> <p>各グループより意見発表 14：40～14：50</p> <p>民生児童委員の活動について懇談 14：52～15：05</p> <p>閉会挨拶～大場会長</p> <p>閉 会～司会：米澤議員 15：10</p> <p>2 配布資料 出席者名簿、会場図</p> <p>3 会 議 録 意見要旨は別紙</p>		

◆グループ意見発表（民生児童委員部会長より）

●障がい部会

- ・地域のつながりを大事にしながら今いる人たちをしっかりとおさえていく。自分たちが生き生きと暮らしていたら他所からもあの町は良い所だと思われるので、そんな暮らしをしていけたら良いと思う。

●更生部会

- ・ハイツの今後の在り方について
- ・除雪サービスの今後の在り方（公住の除雪など）について
- ・高齢者の住宅の電気をLEDに替えてほしい。
- ・町民に認めてもらえるまちづくりをしてほしい。
- ・町立病院の会計の待ち時間の短縮化。
- ・町民から問題提起があった時点でその部署で検討していただきたい。

●高齢者部会

《高齢者支援について》

- ・ラベンダーハイツの老朽化、建て替えるとなるとかなりの予算が必要になるため大きな課題。
- ・介護職員の人材が不足していて、施設の機能が十分に果たしきれていないのではないかな。
- ・町にとって特養施設が本当に必要なのかな、原点に戻って考えることも1つではないかな。
- ・ショートステイが大変助かっている。
- ・介護職員の給料が安いので人が集まらない。
- ・財政面から維持は難しい、広域で考えていくことも必要。

《人口減少対策について》

- ・働く場所の確保。
- ・子どもが遊べる場所がほしい。
- ・出生数より死亡数の方が上回っているのではないかな。
- ・安心して子どもを産み育てる社会になってほしい。

《その他》

- ・町立病院のトイレが外来から遠く不便。

- ・花火について、上まで行かなくても見えるようにしてほしい。町民向けとしてやるのか大会としてやるのかによって変わってくる。
- ・福祉バスについて、利用できる団体の決まりが定かではないのではないか。

●児童部会

- ・ラベンダーハイツの今後について知りたい。
- ・特養の申し込みについて、なかなか入れないのではないか。
- ・働く場所づくり
- ・つながりのあるまちづくり
- ・上富良野は美瑛と富良野の間にある。この立地を生かしていったら良いのではないか。
- ・ふるさと納税に関わる仕事を増やしてはどうか。

◆グループ毎の懇談（表記：A 議員 ・ 委員）

●障がい部会

①「高齢者支援について」

A ラベンダーハイツの老朽化や入所したくても空きがないなどの不安が聞かれる。

A ラベンダーハイツは昭和59年1月1日開設。町立病院改築時に病院敷地内にハイツ建設予定地などの青写真も出ていた。3年前に町長からあと10年間は既存の施設を使いたいと議会に回答している。今年度はコンサルを入れ、施設の方向性が示される。

- ・子どもたちの声が聞こえない。（自分より）上の世代はいるが、下の世代が少ない。災害があった時に大変だ。商店街も減っている。
- ・新施設を建てても、孫や子に借金を背負わせる。
- ・現在除雪サービスは、非課税であることが対象であるが、課税世帯も必要と考える。ボランティアで行えるグループ体制を構築してもらえると良い。
- ・近所に子どもたちが住んでいても、人間関係の希薄化が課題だ。
- ・高齢者が運転免許返納後に協会病院等に通うのにあたり、交通の便の改善、補助制度を作ってもらえると良い。

②「人口減少対策について」

- ・人とのつながり（地域とのつながり）の希薄化、助け合う気持ちが薄れているので、今町に住んでいる人が楽しめる活動があると良いのでは。

- ・地域環境を良くする。
- ・イベントも減少している。町民が関われるイベントがあると良い。文化を育てる環境が必要ではないか。
- ・農村部では地域に子どもがいない。

A 地域コミュニティの活性化が課題である。

A 新規就農の気持ちがあっても、農地や家がない。農地があっても良い土地がないなどが課題である。

「民生委員の活動について」

- ・空き家が多くなっている。また、シーズンステイで外国人も入ってきており、実態把握が困難である。
- ・住居はあるが住人が不在になっているところについての情報があると良い。
- ・高齢者実態調査が重荷になっている。

●更生部会

①「高齢者支援について」

- ・ラベンダーハイツのあり方、今後の状況について知りたい。
- ・別の町の施設や都会に住む子どもの場所へ行く方がいる。現在ハイツは 50 名程度しか入れないため年寄りが残る施設にできないか。
- ・除雪サービスについて何か改善できるものはないか。高齢者から苦情が民生委員に直接入る。高齢者に寄り添ったサービスにしてほしい。
- ・除雪サービスの対象に不平等さがある。
- ・公住の除雪に関する住民トラブルを回避できないか。
- ・料金の課題だけではなく、住民の困っていることを知ってほしい。
- ・ふれあいサロンは元気な方しか来ていない。介助が必要な方も気軽に来ていただけるものにしたい。
- ・町立病院の会計が遅い。会計を待っている人が 2 人ほどしかいないのに 20 分以上かかっている。職員が 1 つの出来事に対して全員で対応している。

A 上富良野は除雪費が安く、1 台の除雪車で除雪をしている状況。

- ・60 代の方々が住民会に入らないため、70 代の方が 80 代の方の世話をしている。
- ・固定資産の評価で行政サービスを受けられない人がいる。
- ・照明器具の LED 化を進めることで高齢者の経済状況の負担軽減ができるのではないか。
- ・公園のトイレが臭い。多くの観光客が来るのにトイレが汚いと町民として恥ずかし

い。

- ・公園の草が伸び放題のため草刈りをしたほうがいい。

②「人口減少対策について」

A 人口減少には自然減と社会減があり、田舎は社会減が多い。自衛隊員が旭川から通うようになっている。乗合タクシーの運転手は減少しているが、続けてほしいサービス。

- ・一目見て空き家だとわかる家を何とかしたい。
- ・上富良野に魅力がないため、空き家が増えている。
- ・高齢者は町外の施設や子どもものところに行ってしまう。
- ・非課税世帯への給付金はあるが、給付額を下げた全世帯対象にできないか。

「民生委員の活動について」

- ・委員のなり手がいない。富良野市では委員のなり手がいないため役場の職員が民生委員をやっている。
- ・活動費を上げて委員のなり手を見つけているところもある。
- ・地区ごとに格差があり、活動費について今後考えていかなければならない。
- ・空き家の虫や雑草問題、除雪問題など見えないことでの住民トラブルが多い。
- ・農村部は高齢者が増える一方で若者が減少している。
- ・「この人がいるからやらない」といったように選り好みが出てくる。

●高齢者部会

①「高齢者支援について」

- ・ラベンダーハイツは建て直しができたとしても必要な介護人材の確保ができるのか。現時点でも人手不足で全ての機能が生かし切れていない。
- ・介護施設が本当に町に必要なのかを考えることから始めてほしい。
- ・ラベンダーハイツは建て直しなどがあっても運営できないといけない。人口が減少していることから運営方法を考えていかないとこの先上手くいかないのでは。
- ・在宅福祉について、仕事を辞めて付きっきりで介護するわけにもいかない。そうすると施設に入れる必要がある。どこに行けばいいのかわからない。
- ・ラベンダーハイツは建て直すとなるとかなりの予算がかかると思うが、建物の老朽化が気になる。そういったことも職員が集まらないことに繋がると思う。待機者がいて定数に達していないのに入居できないのはもったいない。介護職員を集める方法を考えてほしい。

- ・民生委員の活動で、親の介護をしていたが、親が亡くなって独居になった方の相談に入ったが、死んだ方がマシだというようなことを口にしていた。あらゆる相談に入ったが、結局残念な結果になってしまった。在宅で介護をしているとかなり精神的にきついものがあると思う。
- ・ラベンダーハイツは母親と同居しており、日常生活などはまだ自分で行えているが、旅行などに行く際にショートステイを利用して大変助かっている。そういったサービスのためにも介護職員が増えたら良い。
- ・10年ほど前にラベンダーハイツで働いていたことがある。皆さん一生懸命働いているが、給料が少ないと感じていた。介護職員の給料が少ないため隣町などに行ってしまった人もいる。
- ・厚生年金の方は色々な施設に入ることが可能だと思うが、国民年金の方は特養のような施設でないと入れないと思うので、建物の建て直しや職員の給料を増やして施設を維持してほしい。人を集めるにはまず給料を見直す必要がある。
- ・町立病院が新しくなったが、外来の近く（内科）にトイレがなくて不便。検査などを受けた後トイレに間に合わない年配の方もいる。以前より不便になっている。
- ・子どもに対する支援が多くて、高齢者への支援が少なくなっている。

A ラベンダーハイツに限らず、全部の建物が老朽化してきている。

A 今後人口は減っていく。町単独で維持するのは難しい。広域でやっていく必要があると考える。病院、介護医療院、ラベンダーハイツの間で調整の役割をする人材が必要ではないか。

- ・日の出公園の花火を下からでも見えるようにしてほしい。小さい子どもや、高齢者だと上まで行くのが大変。みんなが見えるように。
- ・福祉バスの要件を緩和してほしい。

②「人口減少対策について」

- ・働く場所がない。
- ・小さい子やファミリーで遊べる場所がなく、みんな中富良野町に行っている。
- ・空港が近いので移動がしやすく移住のアピールにできると思う。
- ・町の魅力をもっと発信していかなければいけない。
- ・生まれてくる数以上の人が年間で亡くなっている。

「民生児童委員の活動について」

- ・月1万円の活動報酬の中から研修費などが引かれている。
- ・12月から報酬が上がると聞いている。
- ・次の任期で10分の1くらいの委員が変わる。

●児童部会

①「高齢者支援について」

- ・ラベンダーハイツの今後について町の考えはどのようになっているのか。

A 施設の老朽化、介護人材が不足する中、施設の職員は努力されているが、財政面は厳しい状況にある。令和7年度は1400万円ほどの費用を持って経営コンサルタントに委託し、町の介護の在り方について検討していくこととしている。現在、委託業務が進行中と聞かれている。

- ・施設に申込しても中々は入れないと聞く。満床ではないと聞くので、対応できればと良いと思う。
- ・高齢化で人口は減少していく中、働く場所づくりなど魅力あるまちづくりが期待される。高齢社会を支えていくことが大切になってくる。

A 若者などが定着できる魅力づくりが重要と思う。

A 移住定住の施策の検討が必要と思う。

- ・色々なつながりのあるまちづくりが希望である。
- ・近郊から通勤する人が結構いる。職場が良いのであれば定住につながるようなまちづくりが重要。
- ・在宅事業の値上げについて議会で否決となった。重要な問題と受け止めており、皆さん生活が大変になってきており、慎重に対応してほしい。

A 日々の生活に関わる問題として、拙速な対応でもあり否決となった。2年後に議論していくこととしている。

- ・いろいろなものが値上げされている状況下、住民の生活を見てほしい。
- ・子ども食堂が行われている。生活の衛生面は大切。集うことその他配食も必要と思う。高齢社会において社会に関わっていくために一歩前に出ることが大切。

A 一人暮らしが増えている。話すことは大切。ホットカフェが増えた、好評と聞いている。

- ・カフェの運営において話すこと大切であるが、情報の管理などルールも大切と思う。
- ・運営にはボランティアが関わり人材が求められるところ、試験的に行われている。
- ・ボランティアはそれぞれの関りが大切である。

A 仲間同士による支え合いを進めてほしい。

②「人口減少対策について」

- ・農業に関わるものを活性化できれば良い。地元のもので買えることや加工などの6次化など。教員住宅が空きになっているのが目につく。自衛隊の方も多く通勤されている。住んでもらえるよう魅力あるまちづくりを期待する。

A 定住施策として、住宅助成を行うまちがある。上富良野もどうかと思うが、財政の

課題がある。

- ・公共施設の老朽化がみられる。計画的に更新を進めてほしい。

A ラベンダーハイツ、給食センターなど課題はある。

- ・勤め先が少ないことが長年続いている。上富良野はいい意味で中心に位置している。これを生かすことができれば。

A 新聞に上富良野の記事が少ない、話題が少ないということで残念。企業誘致も弱いと感じる。立地は良いと思う。雇用を考えれば規模の大きい企業が立地できればと思う。

A 一次産業に関わるものが出てくれば良いと思う。町の魅力につながると思う。そのためにも議論する場が必要と思う。

A 関係人口として上富良野ファンを増やすことも一つ。色々なイベントが出てきている。十勝岳も魅力ある、生かせればよいと思う。

- ・富良野と美瑛の間にある上富良野、この好条件を生かすように考えられれば。

A キャンプ場が人気ある。これも立地の良さが出ている。

- ・ふるさと納税に関わる雇用が出来ればと思う。返礼品は多いと思う。

A 地域おこし協力隊員も活躍している。農地の流動化が進めばと思う。

- ・他の町にふるさと納税していると聞く。上富良野の魅力づくりに期待。
- ・子どもが少なくなっている。子育ては重要。

A 子どもの安全、地域の目も大切。町内会の力がもっと出せればと思う。

「民生児童委員の活動について」

- ・充て職が多く忙しい。
- ・12年となり退任する。苦勞とは思わない。議員には地域の活動を知っていただきたい。議員の姿が見られないので、色々な活動を見て知ってほしい。
- ・議員には地域と交流してほしい。
- ・自分の地域は民生委員も住民会に関わっている。